

【教育目標】  
人間尊重  
自己実現  
心身の健康

# 小園中だより

TEL.06(6493)0280 <http://cen-web/school/j22/index.html>

令和2年度  
1月6日  
(水)  
第10号

2021

新型コロナウイルス感染拡大により、多くの方が亡くなり、今なお治療されている方がおられます。ここに謹んでお悔やみとお見舞い申し上げます。みなさん、年末そして

年始へと「早寝・早起き・朝ごはん」は続いていますでしょうか。新年明けまして、おめでとうございます。希望に満ちた令和3(2021)年がスタートしました。

旧年中は、本校の教育活動にご理解、ご協力いただき感謝申し上げます。

さて、今年も私がお正月になると楽しみにしている箱根駅伝がおこなわれました。1月2日と3日にたすきをつなぎ、最後の最後まであきらめずに、一所懸命走る大学生たちの姿に感動しました。今年は駒澤大学が13年ぶり7回目の逆転優勝、1日目の往路は創価大学、2日目は復路は総合2連覇はならなかった青山学院大学でした。今年もたくさんの新記録ができました。駅伝は走る人だけでなく、水を準備して渡す人、応援する人、それぞれが自分の役割を果たし、みんなの思いを背負い、チーム全員が協力して1つのたすきをつないでいく。特に大学4年生は最後の出場ですから、下級生に次のチームの伝統と願いをたくし、たすきをつないでいく姿にとっても感動します。



2021年は「うしどし」ですね。十干が「辛(かのと)」、十二支が「丑(うし)」の年にあたるので、十干と十二支でいいますと、干支は「辛丑(かのとうし)」となります。「辛丑」という干支の意味ですが、「辛」は、下にあるエネルギーが上に出現する。上に向かって求める。その過程で「つらい」「からい」がある。「新しい」と同時に「からい」という意味があると言われています。また、「丑」は、赤ちゃんが右の手を伸ばした姿、曲がっていたものが伸びる、始める、結ぶ、つかむという意味もあると言われています。「上へ伸びる」イメージと「新しい」「始める」と「つらい」「からい」がある。すなわち2021年はまさに転換期となるのでしょうか・・・。



転換期だからこそ、下を向かず上に向かって挑戦し続ける！上に手を伸ばして、何かをつかもうとする！コロナに負けない！・・・新しい時代のスタートの兆しを感じますね。新しい年は、コロナの混乱が終わり、新しい世界への出発の年になりそうです・・・コロナがあったからこそ、時代はかわる、いいえ、かえていくのです。今はまだまだつらいこともあるけれど、みんなで「新しい時代に向かってがんばろう！」という年にしていきましょう。

## 【1. 17地震、津波避難訓練をおこないます】

1995年1月17日午前5時46分。阪神淡路大震災が発生し、私たちの大切なものを数多く奪ってしまいました。あの震災から、まもなく26年を迎えようとしています。震災でお亡くなりになられた方を追悼するとともに、震災で培われた「きずな・支えあう心」「やさしさ・思いやり」の大切さを次世代へ語り継いでいくため、1月15日(金)に本校では1.17地震・津波訓練を実施します。ご家庭や地域でも地震・津波災害時の避難について話し合いをしていただきますようお願いいたします。



## 【これからの「主体的・対話的で深い学び」について】

改定された学習指導要領には、これまでにはなかった授業方法について新しい考え方が示されています。それは「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」です。これまで日本の学校では、教師が教壇に立ち、黒板と教科書を使い、子どもたちに教えるという形がとられてきました。この形を改め、子どもたちが自ら考え、自ら学ぶ学習方法を実現しようとしています。その方法が「主体的・対話的で深い学び」です。それは、どのような学びなのでしょう。

まず「主体的な学び」とは、1人ひとりの子どもが学ぶことに興味や関心を持ち、毎時間、見通しを持って粘り強く取り組み、自らの学習

をまとめ、振り返り、次の学習につなげるといった学びのことです。「対話的な学び」とは、まもって個人で考えたことを、意見交換し、議論することで、新たな考え方に気づき、自分の考えをより妥当なものとするということです。子ども同士の対話に加え、子どもと教員、子どもと地域の人の対話、さらに書物を通じて書いた人や歴史上の人物などとの対話を図ることを意味します。「深い学び」とは、事象から自ら問いを見つけ、課題を追求し、解決する探求する。調査した情報を基に自分の考えを形成したり、目的や場面、状況に応じて伝えあったり、考えを伝え合うことを通して集団としての考えを形成したりします。感性を働かせ、思いや考えをもとに、意味や価値を創造します。このように、子どもたちは教えられるというだけの勉強ではなく、自ら考え、課題をみつけ、その課題を自ら解決する力をつけるための勉強です。教員は、授業で教えたことをどれだけ身に付けているかをテストする授業方法を改善し、これまで経験のない授業を展開していきます。教員は「主体的・対話的で深い学び」の視点にたった授業改善を行うことで子どもたちの高い学びを実現し、子どもたちが学習内容を深く理解し、資質・能力を身につけ、生涯にわたってアクティブに学び続けることが求められています。このような授業を通して、知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力の育成、学ぶ意欲と人間性の涵養という、3つの教育目標を実現していきます。

今回の改訂では「主体的・対話的で深い学び」を、すべての教科等で積極的に取り入れることが求められています。たとえば「見通しをもって作業したり、粘り強く取り組んだりする」「学習した内容を振り返り、次の学びに生かす」「グループなどの話し合いを深める」「これまで学んで得た知識をつないだり生かしたりして考える」などの活動を各教科等にふさわしい方法で取り入れるということです。その際、子どもたちが、子ども同士や教師とはもちろん、時には保護者、地域の皆さまとの対話を通して深い学びとなるように授業を工夫することが大切になります。

## 【特別支援学級の製作活動です】

特別支援学級では、2学期末にクリスマスの制作活動を実施しました。生徒たちは先生のアドバイスをいただきながら工夫し、作品を完成することができました。楽しいクリスマスを過ごせました。

このコロナ禍での冬休みは、特に家の中で過ごす時間が長かったことでしょう。それゆえに保護者の皆さまには、ご家庭でお子様とたくさんの会話を通して、家族、命の大切さについてのお話をさせていただいたことと思います。また地域の皆さまにおかれましては、これからの地域の担い手となる大切な子どもたちを、温かく見守り、激励していただいていたことと思います。今日から3学期が始まり、生徒たちは元気に登校してきました。2021年は、ますます地域・家庭・学校がさらに協力体制を強め、スクラムをしっかりと守り育てていきましょう。



## 【ミマモルメの登録をお願いします】

まだ、「ミマモルメ」の登録がお済みでない保護者の方は、登録をお願いいたします。コロナなどによる臨時休校やその後の対応、家庭学習について等、緊急で大切な連絡については、ミマモルメにてお知らせいたします。学校の電話回線数では緊急連絡は困難な状況です。どうぞよろしくお願いいたします。

今年も本校生徒の幸せのために、職員一同、仲よく、元気に、そして「コロナに負けるな がんばろう チーム小園中」で力を合わせて生徒たちを支援してまいります。皆様方の今後一層のお力添えを賜りますようよろしくお願いいたします。保護者、地域及び関係機関の皆さまにおかれましては、すばらしい2021年になりますよう祈念いたします。